

第10回「障害児」の高校進学を実現する

全国交流集会 In SAITAMA・RANZANに参加しました!

PART1: 制度ってなんだろう?

春日部市 藤ヶ谷 理江 (TOKO 世話人)

1日目(10月6日)は第4分科会「制度と改革」で斉藤尚子さんのお話を聞きました。斉藤さんとは浦和のぺんぎん村で時々お会いしますが、いつもニコニコお話しされる気さくな方です。でもそのがんばりには本当に頭が下がります。入試、進級、卒業時、次々に起こる問題を、ひとつひとつ親子で乗り越えて来られた、貴重なお話でした。お話の後、参加者から質問や意見が出ましたが、制度って思っていたより地域差があるんだな、と改めて思いました。たとえば、東京や神奈川では入試時における合理的配慮などが埼玉に比べて整っていたりで、入り易いなど…ただ、そんな中、問題なのは多くの地域で、高校受験を希望する障害児が減っているということでした。障害児の教育の制度＝特別支援教育の制度という安易な図式だけが膨張しているように思います。特別支援教育に期待する人達がそれだけ多いという現実を考えていかなければならないようです。

先日、偶然見た「ハートネット TV」のことを思い出しました。出演していたのは保育園に通うダウン症の女兒。その子を受け入れるにあたり、園では専門家に指導してもらったという話や延長の「これからもこういう子を受け入れていきたい。」という話やその子の母親が「知的障害があって働ける場があって、親がずっと面倒を見なくてもよいような制度ができてほしい。」と言っていた話が紹介されていました。それを受けてスタジオにいた日本ダウン症協会理事長の玉井邦夫氏がこうまとめていました。「ダウン症って言ったら、みんなが〇〇ちゃん、△△くんって顔を思い浮かべられるようになってほしい。そのために、親には勇気をもってどんどん外に出て行ってほしいし、保育士など子供に関わっている人たちにはそれについてもっと話をしてほしい。」と。

「制度」がほしいと訴えていくことはもちろん大事なことのだけれど、それと同時にというか、それより前にまずみんなやれることあるよね?ということ。親として考えさせられます。でもそこからしか始まらないのです。…To be continued



# TOKOニニおしゃべり会に 来てみませんか？



毎月第2金曜日

12月は14日、1月は11日です

10:30から12:00

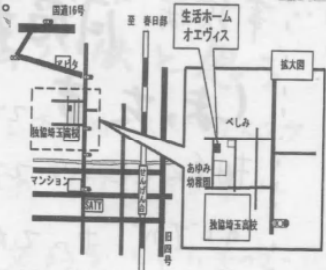
生活ホームオエヴィスの居間に集まって  
おしゃべりしています。



子供たちを送り出した後、ちょっとだけフリーになっ  
たママたちがお茶飲みしながら気軽に話せる・・・  
そんな井戸端会議風なしゃべり場です。

成人、中高生、小学生・・・

さまざまな年齢のお子さんのママたちが集まっ  
てきます。答えを出すのは難しいけれど、何かヒント  
が見つかるかもしれません



連絡先／中山 090-2202-5271 至 藤ヶ谷 048-761-9921

# みんな一緒！イタズらおしゃべり会



障害があるといわれ  
たけれど...

兄弟と同じ学校  
に通わせたい

付き添いを強要された



いじめが心配です

勉強がついていけない...

同じ悩みを持っている  
人っているの？

とき : 毎月第4土曜日 午後1時から4時

12月は22日(土)

ところ : コムナーレ9階南ラウンジ  
浦和駅東口PARC09 階

連絡先／竹迫: 048-942-7543

門坂: 042-959-3362



小学校就学前の悩みから高校進学まで、

障害があってもなくても共に育ち学ぶために...

お互いの悩み、考えをおしゃべりしたり、取り組みを伝え合い、  
行動していく場です。お気軽においでください。